

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式											
製造事業所名											
危険物	類別			側面枠	当板	材	材質記号				
	品名					引張り強さ	N/mm ²				
	化学名					板厚	mm				
タンク	比重			防護枠	材	材質記号					
	断面形状					引張り強さ	N/mm ²				
	長さ	mm				板厚	mm				
ク	内測寸法	幅	mm		閉鎖装置	自動閉鎖装置		有・無			
		高さ	mm			手動閉鎖装置		有・無			
	最大容量	ℓ		吐出口の位置		左右後					
の	タンク室の容量	ℓ		レバニの位置		左右後					
	材	材質記号			底弁損傷防止方法						
		引張り強さ	N/mm ²		接地導線		有(長さ m)・無				
元	板厚	胴板	mm		締結装置	緊締金具(すみ金具)		有・無			
		鏡板	mm			Uボルト	材質記号				
	間仕切板	mm		引張り強さ			N/mm ²				
防	材	材質記号			箱材	材質記号					
		引張り強さ	N/mm ²			引張り強さ		N/mm ²			
	板厚	mm		面積比							
波	防波板面積		x 100		消火剤の種類						
	タンク断面積		%		消火剤の量		kg		kg		
タンクの最大常用圧力		kPa		器		個		個		個	
全置	有効吹き出し面積	cm ²		可燃性蒸気回収設備		有・無					
側	材	材質記号			給油設備		有(航空機・船舶)・無				
		引張り強さ	N/mm ²		備						
	板厚	mm									
取付角度											
枠	接地角度										

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とすること。

コメント [予防(危) 1]:
 共通事項：有無の欄 を記入 () 内も記入
 : 左右後の欄 を記入 (複数記入もある)
 : 材質記号 JIS規格を記入しなければ一般呼称名を記入
 : 引張り強さ 材質に対応した数値を記入
 : 板厚 それぞれの材料の厚みを記入

コメント [予防(危) 2]:
 車体の名称及び型式・単一式、被けん引式の別及び積載式、積載式以外の別を記入
 例：単一式(積載式)、被けん引式(積載式以外)

コメント [予防(危) 3]:
 移動タンク貯蔵所を製造した事業所を記入

コメント [予防(危) 4]:
 類・品名・化学名・比重を記入
 注：2以上の品名の危険物を貯蔵するものは全て記入

コメント [予防(危) 5]:
 ・断面形状 移動タンクの移動方向に直角の断面の形状を記入 例：だ円形、円形
 ・内測寸法 円のタンク(長径を幅、短径を高さ)として記入 円形のタンク(直径を幅及び高さ)として記入
 ・最大容量 タンク内容積から空間容積を引き容量を記入
 ・タンク室の容量 車両の移動方向の前方から順番号を付け記入 例：1槽 L、2槽 L
 ・材料 共通事項による
 ・板厚 共通事項による

コメント [予防(危) 6]:
 方法に応じて記入 例：配管、緩衝継手

コメント [予防(危) 8]:
 ボルトの直径・本数を記入

コメント [予防(危) 7]:
 ・材料 共通事項による
 ・面積比 車両の移動方向の前方から順番号を付け、移動方向の最大断面積に対する防波板の面積の占める割合を記入(小数点第2位を四捨五入)

コメント [予防(危) 10]:
 タンクの最大常用圧力が20 k Pa 以下のタンクは20 k Pa以下とし、20 k Pa を超えるタンクはその数値を記入

コメント [予防(危) 9]:
 ・薬剤の種類 種類を記入する
 ・薬剤量 消火薬剤の量を薬剤の種類ごとに記入
 ・個数 消火器の種類ごとに
 ・個数を記入

コメント [予防(危) 11]:
 ・作動圧力は作動圧力の範囲を「 < P 」と記入
 ・有効吹き出し面積は車両の移動方向の前方から順番号を付け、各室の有効吹き出し面積を記入

コメント [予防(危) 12]:
 ・材料 前記コメント4による
 ・取付角度 貯蔵最大数量の危険物を貯蔵した状態における当該移動タンク貯蔵所の重心点と、当該側面枠の最外側とを結ぶ直線と当該重心点から最外側線におろした垂線のなす角度を記入
 ・接地角度 側面枠の最外側と移動タンク貯蔵所の最外側とを結ぶ直線と地盤面とのなす角度を記入

コメント [予防(危) 13]:
 特殊な構造又は設備があれば記入